

First Hit

L20: Entry 4 of 5

File: JPAB

Sep 13, 2002

PUB-NO: JP02002259544A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002259544 A  
TITLE: SYSTEM OF ELECTRONIC EXHIBITION

PUBN-DATE: September 13, 2002

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TANAKA, NORIYOSHI

MATSUI, KAZUMI

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

WILLONE CORP

APPL-NO: JP2001057933

APPL-DATE: March 2, 2001

INT-CL (IPC): G06 F 17/60; G06 F 17/30

## ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system of electronic exhibition capable of providing information on an actual exhibition in the manner matching with respective objects of attendants and also capable of achieving interactive exchanges of information by obtaining information on the attendants.

SOLUTION: In a system of electronic exhibition providing a variety of information on an exhibition constructed on an information providing server and also actually held and information on the attendants to browsing persons before opening of the exhibition, the server has a linkage means for exhibition information to link and store by linking a variety of information on the exhibition such as opening dates of the exhibition and maps of an exhibition site with a variety of information on exhibitors such as exhibiting enterprises information and exhibiting goods information and also has an information searching means possible to search information stored with linkage by keywords corresponding to requests of the browsing persons.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-259544

(P2002-259544A)

(43) 公開日 平成14年9月13日 (2002.9.13)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 4	G 0 6 F 17/60	1 2 4 5 B 0 7 5
	3 2 6		3 2 6
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
	1 7 0		1 7 0 Z
	3 2 0		3 2 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2001-57933(P2001-57933)

(22) 出願日 平成13年3月2日(2001.3.2)

(71) 出願人 500573462

ウィルワン株式会社

東京都新宿区西五軒町4丁目3番地

(72) 発明者 田中 憲義

東京都新宿区西五軒町4丁目3番地 ウィルワン株式会社内

(72) 発明者 松井 一三

東京都新宿区西五軒町4丁目3番地 ウィルワン株式会社内

(74) 代理人 100105153

弁理士 朝倉 悟 (外1名)

Fターム(参考) 5B075 KK07 ND20 NK02 PP13 PP22

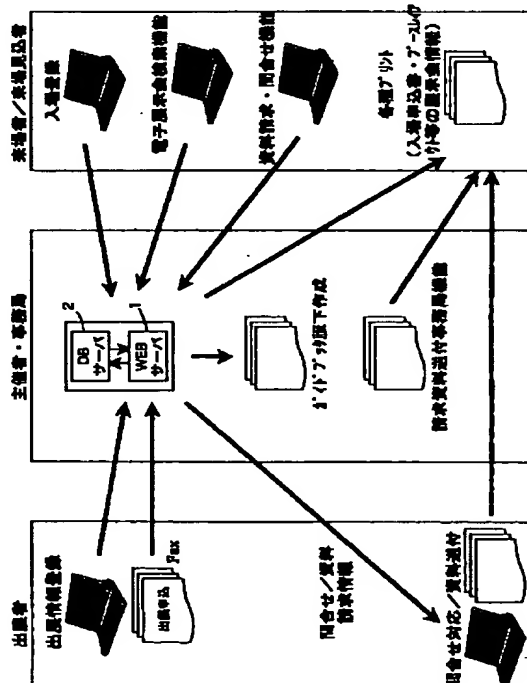
PQ02 PQ32 UU40

(54) 【発明の名称】 電子展示会システム

(57) 【要約】

【課題】 事前に開催される電子展示会において、実展示会の情報を来場者個々の目的に合わせた形で提供可能とし、かつ、来場者の情報を得ることで双方向の情報のやりとりを実現することができる電子展示会システムを提供すること。

【解決手段】 情報提供サーバに構築され実際に開催される展示会の各種情報及び出展者の各種情報を展示会開催前に閲覧者に提供する電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、展示会開催期日や展示会場マップ等の展示会の各種情報、及び出展企業情報や出展商品情報等の出展者の各種情報を関連付けて蓄積する展示会情報関連付け手段を有し、かつ、関連付けて蓄積された情報を、閲覧者の要求に応じたキーワードにより検索可能な情報検索手段を有することとした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者が有する情報提供サーバと、閲覧者が有する情報入出力端末と、該情報入出力端末と前記情報提供サーバとを接続するネットワーク手段とを備え、前記情報提供サーバに構築され実際に開催される展示会の各種情報及び出展者の各種情報を展示会の開催前から閲覧者に提供する電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、展示会開催期日や展示会場マップ等の展示会の各種情報、及び出展企業情報や出展商品情報等の出展者の各種情報を関連付けて蓄積する展示会情報関連付け手段を有し、かつ、関連付けて蓄積された情報を、閲覧者の要求に応じたキーワードにより検索可能な情報検索手段を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項2】 請求項1に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、閲覧者の個人情報を登録し、該個人情報と閲覧者を関連付ける個人認証コードを発行する閲覧者情報登録手段を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項3】 請求項1または2に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、閲覧者がアクセスした出展者の各種情報毎にアクセス数を記録するか、または閲覧者の有する前記個人認証コードとアクセスされた出展者の各種情報を関連付けて記録するアクセス情報記録手段を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項4】 請求項2または3に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、個人認証コードを有する閲覧者の要求する、出展者の各種情報に対する資料請求または問い合わせ等の要求を受け付ける資料請求・問い合わせ受付手段を有し、該資料請求・問い合わせ受付手段により受け付けた情報を出展者毎に整理し、出展者に対して提供する資料請求・問い合わせ情報提供手段を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項5】 請求項1ないし4に記載の電子展示会システムにおいて、出展者は、前記ネットワーク手段を介して前記情報提供サーバに接続する情報入出力端末を有すると共に、前記展示会情報関連付け手段は、出展者が情報入出力端末により提供する各種情報を登録する出展情報登録部を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項6】 請求項5に記載の電子展示会システムにおいて、前記出展情報登録部は、実際の展示会の入場窓口等で来場者に配布するガイドブックの版下を作成する版下作成機能を有することを特徴とする電子展示会システム。

【請求項7】 請求項2ないし6に記載の電子展示会シ

ステムにおいて、

前記情報提供サーバは、前記来場者情報登録手段により登録した閲覧者に対し、実際の展示会の受付時に提出する入場申込書を発行すると共に、該入場申込書と登録された個人情報とを関連付ける個人識別コードもしくはバーコード等を入場申込書に付与する入場申込書発行手段を有することを特徴とする電子展示会システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

10 【発明の属する技術分野】本発明は、複数の企業等が一同に会し、商品情報を提供する展示会に関し、特に、インターネット等のネットワーク上に設置され、事前に展示会情報を提供する電子展示会システムに関する。

## 【0002】

20 【従来の技術】従来、複数の企業等が一同に会し、一般の人や商品を買付けするバイヤー等に商品情報を提供する展示会が行われている。これは、短期間により多くの商品情報を提供する手段としてよく利用されており、大規模な展示会になると、複数の会場を使って多数の企業が出展し、また、来場者の数も数十万人に上る。

【0003】また、上述の展示会の情報を提供する手段としてインターネット上に電子展示会を開催している場合がある。例えば2001年2月13日時点においてホームページアドレス<http://www.jesa.or.jp/jes98/>には、エレクトロニクスショー98の電子展示会が開催されている（尚、実際のエレクトロニクスショー98はすでに終了している）。このホームページには、展示会場の会場マップが表示され、所望の箇所をクリックすることでより詳細な説明を閲覧することができる。電子展示会にアクセスした閲覧者は、会場全体マップから所望のブロックを選択し、選択したブロック内から更に企業を選択し、その企業が展示している商品の情報を得ることができるように構成されている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の展示会にあっては、下記のような問題があった。以下、来場者及び閲覧者、出展者、主催者の問題点を記す。

40 【0005】（来場者及び閲覧者の問題点）実展示会に参加する場合、開催規模が大きくなると会場自体が広すぎるため、闇雲に会場を見学しても所望の情報が得られないと言う問題があった。また、この問題を解決するために、会場の受付時に渡されるガイドブックを見ながら会場を見学するルートを決め、それから実際に見学することが考えられるが、大規模な展示会ではガイドブックの情報も膨大となり、ガイドブック自体を所持するのが大変なだけでなく、所望の商品等をガイドブックから探すのが困難であった。また、事前に展示会の情報を提供する手段である上記従来の電子展示会にあっては、ブ

が、図12に示すように、情報が枝分かれした階層構造になっており、商品の一般名称から検索するといったことができず、他社の同種商品情報を得るためには、一旦ブースマップに戻り各社を一つずつ見て回らなければならないという問題があった。

【0006】(出展者及び主催者の問題点) 実展示会において、出展者は展示会までに商品及びその商品に関する資料を用意する必要がある。特に、展示会で来場者に配布されるガイドブックの原稿にあっては、多数の企業間の調整や、版下作成、校正及び印刷・製本の関係上、最低でも展示会開催一ヶ月前に主催者に提出しなければならない。しかしながら、展示会の主な目的である新鮮な情報を多くの来場者に告知するという観点からすると、一ヶ月前には展示商品の変更ができないため、リアルタイムの情報を提供できないという問題があった。また、実展示会の目的の一つは、実際に商品を見学してもらい、商品の使いやすさ等を感じてもらうことにある。出展者及び主催者は、来場者がより商品性を理解しやすいように展示会場に工夫を凝らすのであるが、来場者がどの商品のどんな体験を要求しているかを事前に把握することは困難であり、より商品性を理解してもらうためのマーケティングが重要となってきた。

【0007】本発明は、上記問題に着目してなされたもので、その目的とするところは、実展示会の開催前から提供される電子展示会において、実展示会の情報を来場者個々の目的に合わせた形で提供可能とし、かつ、来場者の情報を得ることで双方向の情報のやりとりを実現することができる電子展示会システムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の発明では、情報提供者が有する情報提供サーバと、閲覧者が有する情報入出力端末と、該情報入出力端末と前記情報提供サーバとを接続するネットワーク手段とを備え、前記情報提供サーバに構築され実際に開催される展示会の各種情報及び出展者の各種情報を展示会の開催前から閲覧者に提供する電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、展示会開催期日や展示会場マップ等の展示会の各種情報、及び出展企業情報や出展商品情報等の出展者の各種情報を関連付けて蓄積する関連付け手段を有し、かつ、関連付けて蓄積された情報を、閲覧者の要求に応じたキーワードにより検索可能な情報検索手段を有することを特徴とする。

【0009】請求項2に記載の発明では、請求項1に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、閲覧者の個人情報を登録し、該個人情報と閲覧者を関連付ける個人認証コードを発行する閲覧者情報登録手段を有することを特徴とする。

【0010】請求項3に記載の発明では、請求項1または2に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提

供サーバは、閲覧者がアクセスした出展者の各種情報毎にアクセス数を記録するか、もしくは閲覧者の有する前記個人認証コードとアクセスされた出展者の各種情報を関連付けて記録するアクセス情報記録手段を有することを特徴とする。

【0011】請求項4に記載の発明では、請求項2または3に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、個人認証コードを有する閲覧者の要求であって、出展者の各種情報に対する資料請求又は問い合わせ等の要求を受け付ける資料請求・問い合わせ受付手段を有し、該資料請求・問い合わせ受付手段により受け付けた情報を出展者毎に整理し、出展者に対して提供する資料請求・問い合わせ情報提供手段を有することを特徴とする。

【0012】請求項5に記載の発明では、請求項1ないし4に記載の電子展示会システムにおいて、出展者は、前記ネットワーク手段を介して前記情報提供サーバに接続する情報入出力端末を有すると共に、前記関連付け手段は、出展者が情報入出力端末により提供する各種情報を登録する出展情報登録部を有することを特徴とする。

【0013】請求項6に記載の発明では、請求項5に記載の電子展示会システムにおいて、前記出展情報登録部は、実際の展示会の入場窓口等で来場者に配布するガイドブックの版下を作成する版下作成機能を有することを特徴とする。

【0014】請求項7に記載の発明では、請求項2ないし6に記載の電子展示会システムにおいて、前記情報提供サーバは、前記来場者情報登録手段により登録した閲覧者に対し、実際の展示会の受付時に提出する入場申込書を発行すると共に、該入場申込書と登録された個人情報とを関連付ける個人識別コードもしくはバーコード等を入場申込書に付与する入場申込書発行手段を有することを特徴とする。

【0015】

【発明の作用および効果】請求項1記載の電子展示会システムにあっては、情報提供サーバに設けられた関連付け手段により、展示会開催期日や展示会場マップ等の展示会の各種情報、及び出展企業情報や出展商品情報等の出展者の各種情報が関連付けて蓄積される。更に、情報検索手段により、関連付けて蓄積された情報が閲覧者の要求に応じたキーワードにより検索できる。これにより、例えば、実際の展示会開催前に所望の商品がどの展示会場に展示されているか等を、商品の一般名称から検索し、その商品に関連づけされた展示会場マップや出展企業情報を得ることができる。これにより、展示会へ訪れた際のルートマップを容易に作成することが可能となり、闇雲に会場を見学するといった無駄を省くことができる。また、これにより効率よく会場を回ることによって来場促進を図ることができる。また、従来の電子展示会システムに比べ、一旦ブースマップに戻り各社を一つずつク

リックして見て回る必要が無く、見落としを防止することができる。また、例えば、この電子展示会は実際の展示会開催の1～2ヶ月前から展示会の終了後一定期間開催しておくことも可能である。これにより、実際の展示会開催後でも商品の再確認が可能となり、問い合わせ等の取引機会を提供することができる。

【0016】請求項2に記載の電子展示会システムにおいては、情報提供サーバに設けられた閲覧者情報登録手段により、閲覧者の個人情報が登録され、この個人情報と閲覧者を関連付ける個人認証コードが発行される。すなわち、電子展示会に会場した閲覧者が、例えば電子メールアドレス、氏名、性別等の個人情報を登録し、電子メールアドレスを個人認証コードとして付与することによって、閲覧者が再度会場した際、個人認証コードのみを入力すれば容易に電子展示会に入場することが可能となり、主催者及び出展者は閲覧者情報を得ることができ、更に閲覧者自身の入力手順を簡略化することができる。

【0017】請求項3に記載の電子展示会システムにおいては、情報提供サーバに設けられたアクセス記録手段において、閲覧者がアクセスした出展者の各種情報毎にアクセス数が記録されるか、もしくは閲覧者の有する前記個人認証コードとアクセスされた出展者の各種情報が関連付けて記録される。よって、例えばアクセス数から電子展示会のどの商品の需要が高いといったマーケティング情報を得ることができる。また、個人認証コードと関連付けられることで、商品の需要がどの年齢層に、またどんな業界にあるといったより詳細なマーケティング情報を得ることができる。

【0018】請求項4に記載の電子展示会システムにおいては、情報提供サーバに設けられた資料請求・問い合わせ受付手段により、個人認証コードを有する閲覧者の要求であって、出展者の各種情報に対する資料請求または問い合わせ等の要求が受け付けられる。そして、資料請求・問い合わせ情報提供手段により、資料請求・問い合わせ受付手段により受け付けた情報が出展者毎に整理され、出展者に対して情報が提供される。これにより、閲覧者は所望の商品毎に資料請求等を行う必要が無く、複数の商品の資料請求等を一括で請求することができる。また、この一括請求された情報を出展者毎に整理し直し、出展者に対して一括資料請求等を行うことで、出展者自身も資料請求等の希望者に個別に対応する必要が無く、事務処理の簡略化を図ることができる。また、電子展示会を実際の展示会終了後も開催しておくような場合、自動的に資料請求や問い合わせが一括処理され、主催者の負担を軽減することができる。

【0019】請求項5に記載の電子展示会システムにおいては、出展者が情報入出力端末により、ネットワーク手段を介して情報提供サーバに接続し、展示会情報関連付け手段に設けられた出展情報登録部において、出展者

が提供する各種情報が登録される。よって、出展者自身が提供する情報を自由に登録及び更新することが可能となり、マーケティング情報等に依じた商品登録ができる。また、主催者側が情報を入力する必要が無く、事務処理の簡素化を図ることができる。

【0020】請求項6に記載の電子展示会システムにおいては、出展情報登録部には版下作成機能が設けられている。これにより実際の展示会の入場窓口等で来場者に配布するガイドブックの版下を作成することが可能となり、ワンソースマルチユースが実現し、ガイドブック作成における主催者側の負担軽減を図ることができる。また、従来はガイドブック向けの版下作成には、多数の企業間の調整や、版下作成、校正及び印刷・製本の関係上、最低でも展示会開催一ヶ月前に主催者に提出しなければならなかったが、本発明では、展示会開催期直前まで出展企業の情報更新が可能となり、リアルタイムの情報を提供できるとともに、出展者、主催者、印刷・製本会社の相互において利便性を高めることができる。

【0021】請求項7に記載の電子展示会システムにおいては、情報提供サーバに設けられた入場申込書発行手段において、来場者情報登録手段により登録した閲覧者に対し、実際の展示会の受付時に提出する入場申込書が発行されると共に、この入場申込書と登録された個人情報とを関連付ける個人識別コードもしくはバーコード等が入場申込書に付与される。よって、実際の展示会に入場申込書を持参した来場者は、展示会場の受付において、入場申込書に付与された個人識別コードもしくはバーコードを示すだけで入場登録が完了し、受付において個人情報を記載するといった事務処理を軽減することができる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本願発明を図面を用いて説明する。図1は本発明の実施の形態を表す全体システム図である。本実施の形態においては、出展者及び閲覧者はインターネット等のネットワークを利用して各種情報を授受するものであるが、各情報入出力端末はパーソナルコンピュータに限られるものではなく、例えば携帯電話やその他インターネットに接続可能な端末であれば利用できるものとする。また、電子展示会は実展示会の1～2ヶ月前から一年間開催されるものとする。ここで、電子展示会へアクセスした来場予定者を閲覧者とし、実際の展示会へ来場した者を来場者と記載する。

【0023】まず構成を説明すると、主催者が設置したWEBサーバ1はインターネット上に配置され、各種情報入出力端末と後述のDBサーバ2とを接続するものであり、情報入出力端末とDBサーバ2とでWEBサーバ1を経由して双方向の情報伝達を行う。

【0024】DBサーバ2は、主催者側に設けられ、出展者の企業情報や出展情報、展示会情報、閲覧者及び来場者情報等が蓄積されている。尚、本実施の形態では、

WEBサーバ1とDBサーバ2は別々のサーバを用意したが、一つのサーバでWEBサーバとDBサーバを構成しても良い。

【0025】このDBサーバ2は、各階層ごとに蓄積された情報だけでなく、複数の階層において情報を検索することができるように構成されている。例えば、出展者が企業情報、商品情報、問い合わせ先情報を登録すると、それぞれの情報は関連付けられた上で、階層的に蓄積される。このように蓄積された出展者情報、展示商品、会場レイアウト等のいずれの階層に属するキーワードからもそれぞれの情報を検索し、相互の情報を参照・確定することができる。この検索機能については、後で詳細に説明する。

【0026】以下、出展者、主催者、閲覧者及び来場者のそれぞれにおける電子展示会システムの利用フローを説明する。

【0027】(出展者の利用フロー)図2は出展者の利用フローを表すフローチャートである。

【0028】ステップ101では、主催者に展覧申し込みを行う。展覧申し込みはFAXでもよいし、WEBサーバを介して申し込みしても良い。

【0029】ステップ102では、主催者から展覧許可及び出展会場等の通知を得られたかどうかを判断し、出展許可が得られた場合はステップ104へ進み、出展許可が得られなかった場合は、ステップ103へ進む。

【0030】ステップ103では、出展を断念する。すなわち、本実施の形態の電子展示会では、実際の展示会(以下、実展示会と記す)の前に情報を提供するのが目的である。実展示会においては、会場のスペース等にも制限があり、全ての出展予定者を受け付けることができない場合がある。よって、予め主催者側で出展調整が行われるためである。

【0031】ステップ104では、電子展示会に出展者情報を登録する。ここで、出展者情報とは出展する企業の企業情報、出展する商品情報、資料請求先などが登録される。

【0032】ステップ105では、主催者から提供された各種情報に基づきマーケティングを行う。すなわち、電子展示会は実展示会の1~2ヶ月前から開催されるため、電子展示会の閲覧者情報やアクセス情報に基づいて、実展示会での商品配置レイアウト等を適切に調整することができる。尚、実展示会開催後も電子展示会は約1年間開催されているため、実展示会開催後のアクセス情報等も得ることができる。

【0033】ステップ106では、後述する資料送付事務局からの情報に基づき資料を提供する。すなわち、後述の資料送付事務局では、閲覧者の要求する複数の商品情報や企業情報を一括して受け付ける機能を有しており、資料送付事務局からの情報に応じて必要な資料を提供する。これにより、閲覧者に対して個別に対応する必

要が無く、事務処理の簡素化を図ることができる。

【0034】(主催者の利用フロー)図3は主催者の利用フローを表すフローチャートである。

【0035】ステップ201では、出展予定者に展示会の開催を通知する。通知手段は、事前にDBサーバ等に登録された企業に対しては電子メールやダイレクトメールで通知しても良いし、その他ポスター等の露出により展示会の開催を通知しても良い。

【0036】ステップ202では、出展申し込みを基に調整を行い、出展者に対して出展許可及びブースマップ等を通知する。この調整については、ステップ103において説明したとおりである。

【0037】ステップ203では、来場予定者等に電子展示会開催を電子メール等により通知する。この通知手段は前述のステップ201での通知手段と同じである。

【0038】ステップ204では、閲覧者情報及びアクセス情報等を出展者に対して提供する。すなわち、電子展示会は後述の来場者及び閲覧者利用フローで説明するように、ステップ20において電子メールアドレス3aを個人認証コードとする閲覧者情報が登録される。よって、出展者に対しこの閲覧者情報を提供できるほか、閲覧者が商品やブースにアクセスした際のアクセス情報を提供することができる。これらの情報はステップ105において説明したマーケティング等に利用可能である。

【0039】ステップ205では、実展示会向けのガイドブックを作成する。ここで、図5に示す電子編集による版下作成機能について説明する。すなわち、出展企業の企業情報、商品情報等を登録しているデータベースを利用し、これを電子的に当該データを編集して、実展示会の入場窓口等で来場者に配布するガイドブックの版下50を作成する。これにより、ワンソースマルチユースが実現し、ガイドブック作成における主催者側の負担の軽減を図ることができる。また、従来は、ガイドブック向けの版下作成には時間がかかるため、実際の展示会の開催1ヶ月程度前に出稿期限が設定されており、出展企業からの情報収集に混乱を来すことも往々に発生していたが、本実施の形態のように版下50を電子編集することで、実展示会開催期日直前まで出展企業の情報更新が可能となり、出展者、展示会主催者、印刷・製本会社共に利便性を高めることができる。

【0040】ステップ206では、展示会開催後も電子展示会を管理し、各種情報を月次レポートとして出展者に提供する。電子展示会は実展示会開催の1~2ヶ月前から一年間開催されているため、実展示会後でも出展者やその商品の再確認が可能となり、問い合わせ等の取引チャンスを提供することができる。

【0041】(閲覧者の利用フロー)図4は閲覧者の利用フローを表すフローチャートである。

【0042】ステップ301では、主催者からの電子展示会開催通知に基づいて、電子展示会にアクセスする。

【0043】ステップ302では、電子展示会において閲覧者登録を行う。図6は閲覧者登録画面の一例を表す図である。電子展示会の閲覧者は、閲覧者登録画面3において、氏名、性別、年齢、電子メールアドレス3a、住所等を入力し、アンケート形式の画面3bにて個人属性及び業種等の情報を入力・選択し登録する。これにより、主催者はDBサーバ2に登録された電子メールアドレス3aをIDとし各登録データと関連付けることで、登録・変更・入場等の管理を行う。

【0044】ステップ303では、実展示会開催前かどうかを判断し、実展示会開催前であればステップ304へ進み、実展示会開催後であればステップ305へ進む。

【0045】ステップ304では、入場申込書5をプリントアウトする。図7は入場申込書発行機能を表す図である。尚、この機能は電子展示会の開催時から実展示会の会期中のみ有する機能であり、実展示会終了後はこの機能は停止する。実展示会開催前もしくは開催中であって、登録した閲覧者が実展示会への参加を希望した場合は、ステップ302で登録された情報を基に、個人を認識させるコード番号4もしくはバーコード4a等を付加した入場申込書5が画面表示され、これをプリントアウトし、実展示会へ持参して展示会窓口にて提示することで、事前に入場申込書5により登録した来場者に対して改めて個人情報を記載してもらう必要が無く、スムーズな受付手続きが可能となり、円滑に展示会を開催することができる。

【0046】ステップ305では、電子展示会において、商品情報及び展示会場マップを検索し、必要な情報を入手する。ここで検索機能について説明する。図8、図9及び図10は電子展示会での情報検索の一例を表す図である。

【0047】図8に示す情報検索について説明する。電子展示会の閲覧者は、会場全体マップ6から所望のブロックを選択することで、選択したブロック内のブースマップ7に移動する。さらに、選択したブースマップ7内の所望の出展者ブースを選択することで出展者ブース8へジャンプする。出展者ブース8内には出展社名81、出展企業の概要が示されると共に、出展商品の見出し（簡易な商品画像や商品名等）が表示された商品ボタン82が陳列されており、所望の商品ボタン82を押すことで商品詳細画面83へジャンプし、商品画像83aや商品説明及び資料請求先83bなどを閲覧することができる。これは従来の電子展示会と同じ検索方法である。

【0048】図9に示す情報検索について説明する。電子展示会の閲覧者は、50音順に並べられた出展者リスト90から所望の出展者を選択することで、出展者ブース8へジャンプする。出展者ブース8内には出展社名81や商品ボタン82が設けられており、商品ボタン82を押すことで商品詳細画面83へジャンプし、より詳細な

商品情報を得ることができる。また出展者ブース8内に設けられた会場マップボタン91を押すことで会場マップ92へジャンプし、会場全体マップ6及びブースマップ7が表示され、該当するブースが反転表示されることで、所望の商品が展示されているブースのブースマップを確認することができる。

【0049】図10に示す情報検索について説明する。電子展示会の閲覧者は、商品カテゴリーから所望の商品を検索可能な商品検索画面60において、商品カテゴリー入力部61に所望の商品を入力し、検索ボタン62を押す。この検索結果は一覧として表示され、この商品カテゴリーに関連する商品ボタン63（簡易な商品画像と商品名）及びブースマップボタン64が表示される。閲覧者は所望の商品ボタン63を選択し商品詳細画面83にジャンプする。商品詳細画面83には出展者ブースボタン83cが設けられ、このボタン83cを押すことで出展者ブース8にジャンプできる。出展者ブース8には出展社名81や商品ボタン82が設けられており、より詳細な出展社情報を得ることができる。また、商品検索画面60内の会場マップボタン64もしくは出展者ブース8内の会場マップボタン91を押すことにより会場マップ92へジャンプする。ここでは会場全体マップ6及びブースマップ7が表示され、該当するブースが反転表示されることで、所望の商品が展示されているブースのブースマップを確認することができる。

【0050】すなわち、このDBサーバ2は、各階層ごとに蓄積された情報だけでなく、複数の階層において情報を検索することができるように構成されているため、企業情報、商品情報、問い合わせ先情報等は、関連付けられた上で各階層に蓄積されている。よって、出展者情報、展示商品、会場レイアウト等のいずれからでもそれぞれの情報を検索し、相互の情報を参照・確定することができる。

【0051】ステップ306では、ステップ305で入手した情報に基づいて、資料送付事務局へ問い合わせる。ここで、資料送付事務局機能について説明する。図11は資料送付事務局機能を表すシステム図である。閲覧者は検索したそれぞれの商品のカタログやサンプル、問い合わせや資料請求等を要求するボタンをクリックすることで、電子展示会内に用意された電子カート10内に要求事項が蓄積される。このとき、この電子カート10には閲覧者のIDである電子メールアドレス3aが登録されており、一通り電子展示会内を見回り、複数の要求を電子カート10内に蓄積した後、この電子カート10は、資料送付事務局11へ送られる。資料送付事務局11では、マルチ配信機能を利用して各出展者に対して閲覧者の要望に応じた資料請求を行い、出展者はそれぞれ資料送付事務局11に請求された資料を送付する。そして、資料送付事務局11に送付された資料等は来場者に一括送付される。これにより、閲覧者は個々の出展者



に対して別々に資料請求等を行う必要が無く、また、出展者にとっても個々の資料請求等に対応する必要がない。これにより、資料請求や問い合わせを行った閲覧者と出展者の双方の利便性が高まり、出展者側へのビジネスチャンスを提供・促進させることができる。

【0052】以上説明したように、本実施の形態の電子展示会システムにおいては、DBサーバ2に展示会開催期日や展示会場マップ等の展示会の各種情報、及び出展企業情報や出展商品情報等の出展者の各種情報が関連付けて蓄積されている。更に、関連付けて蓄積された情報が閲覧者の要求に応じたキーワードにより検索できる。これにより、例えば、実際の展示会開催前に所望の商品がどの展示会場に展示されているか等を、商品の一般名称から検索し、その商品に関連づけられた展示会場マップや出展企業情報を得ることができる。また、展示会へ訪れた際のルートマップを容易に作成することが可能となり、閲覧者に会場を見学するといった無駄を省くことができる。また、これにより効率よく会場を回ることによって来場促進を図ることができる。また、従来の電子展示会システムに比べ、一旦ブースマップに戻り各社を一つずつクリックして見て回る必要が無く、見落としを防止することができる。

【0053】また、出展者がDBサーバ2に接続し、出展者が提供する各種情報を登録することで、出展者自身が提供する情報を自由に登録及び更新することが可能となり、マーケティング情報等に応じた商品登録ができる。また、主催者側が情報を入力する必要が無く、事務処理の簡素化を図ることができる。

【0054】また、電子展示会に来場した閲覧者が、電子メールアドレス3a、氏名、性別等の個人情報を登録し、この電子メールアドレス3aを個人認証コードとして閲覧者に付与することによって、閲覧者が再度来場した際、電子メールアドレス3aのみを入力すれば容易に電子展示会に入場することが可能となり、主催者及び出展者は閲覧者情報を得ることができ、更に閲覧者自身の入力手順を簡略化することができる。

【0055】また、資料請求・問い合わせ機能により、電子メールアドレス3a等の個人認証コードを有する閲覧者の要求であって、出展者の各種情報に対する資料請求又は問い合わせ等の要求が電子カート10により一括に受け付けられ、資料送付事務局11において受け付けた情報が出展者毎に整理され、出展者に対して資料請求及び問い合わせ情報が提供される。これにより、閲覧者は所望の商品毎に資料請求等を行う必要が無く、複数の商品の資料請求等を一括で請求することができる。また、この一括請求された情報を出展者毎に整理し直し、出展者に対して一括資料請求等を行うことで、出展者自身も資料請求等の希望者に個別に対応する必要が無く、事務処理の簡略化を図ることができる。また、電子展示会を実際の展示会開催の例えば1〜2ヶ月前から約一年

間、すなわち実際の展示会終了後も開催しておくような場合、自動的に資料請求や問い合わせが一括処理され、主催者の負担を軽減することができる。

【0056】また、版下作成機能により実際の展示会の入場窓口等で来場者に配布するガイドブックの版下を作成することが可能となり、ワンソースマルチユースが実現し、ガイドブック作成における主催者側の負担軽減を図ることができる。また、従来はガイドブック向けの版下作成には、多数の企業間の調整や、版下作成、校正及び印刷・製本の関係上、最低でも展示会開催一ヶ月前に主催者に提出しなければならなかったが、本発明では、展示会開催期日直前まで出展企業の情報更新が可能となり、リアルタイムの情報を提供できるとともに、出展者、主催者、印刷・製本会社の相互において利便性を高めることができる。

【0057】また、入場申込書発行機能により、登録した閲覧者に対し、実際の展示会の受付時に提出する入場申込書5が発行されると共に、この入場申込書5と登録された個人情報とを関連付ける個人識別コード4もしくはバーコード4a等が入場申込書5に付与される。よって、実際の展示会に入場申込書5を持参した来場者は、展示会場の受付において、入場申込書5に付与された個人識別コード4もしくはバーコード4aを示すだけで入場登録が完了し、受付において個人情報を記載するといった事務処理を軽減することができる。

【0058】また、主催者は展示会への出展者の出展申し込み調整を行う。すなわち、本発明においては、実際に開催される展示会のプレ展示会として電子展示会を開催する。よって、出展者の数にはスペース的に限りがあるためである。また、出展者の要求するブースの広さを実際の展示会場で確保するための調整等が必要なため、この調整手段により出展者の調整を図ることで、円滑に展示会を開催することができる。

【0059】以上本実施の形態について説明したが本発明はこの構成に限られるものではなく、例えば、DBサーバ2にアクセス記録手段を設け、閲覧者がアクセスした出展者の各種情報毎にアクセス数が記録されるか、もしくは来場者の有する前記個人認証コードとアクセスされた出展者の各種情報が関連付けて記録してもよい。これにより、例えばアクセス数から電子展示会のどの商品の需要が高いといったマーケティング情報を得ることができる。また、個人認証コードと関連付けられることで、商品の需要がどの年齢層に、またどんな業界にあるといったより詳細なマーケティング情報を得ることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態における電子展示会システムを表すシステム図である。

【図2】実施の形態における出展者の電子展示会利用フローを表すフローチャートである。



【図3】実施の形態における主催者の電子展示会利用フローを表すフローチャートである。

【図4】実施の形態における閲覧者の電子展示会利用フローを表すフローチャートである。

【図5】実施の形態における電子編集による版下作成機能を表す図である。

【図6】実施の形態における電子展示会の来場者登録画面を表す図である。

【図7】実施の形態における入場申込書発行機能を表す図である。

【図8】実施の形態における閲覧者の情報検索の一例を表す図である。

【図9】実施の形態における閲覧者の情報検索の一例を表す図である。

【図10】実施の形態における閲覧者の情報検索の一例を表す図である。

【図11】実施の形態における資料送付事務局機能を表す図である。

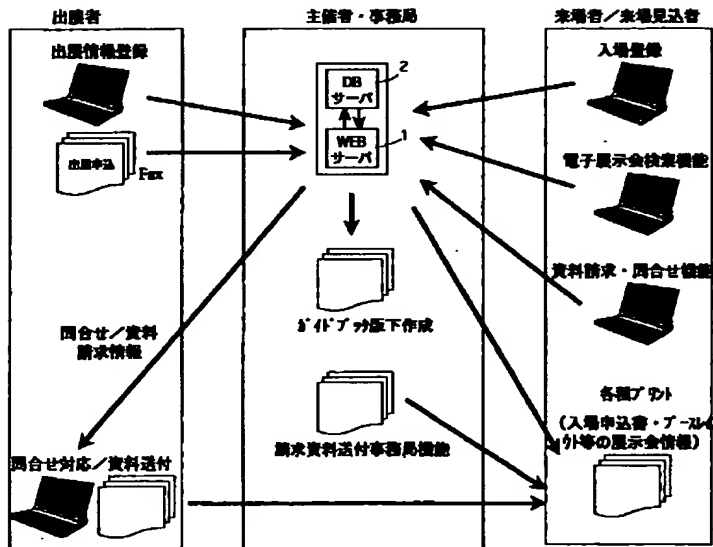
【図12】従来技術における電子展示会の情報蓄積構造を表す概略図である。

【符号の説明】

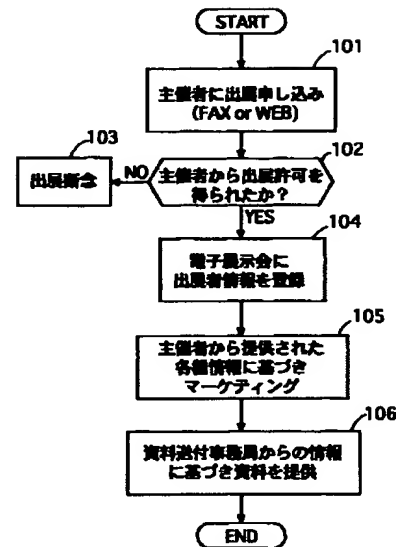
- 1 WEBサーバ
- 2 DBサーバ
- 3 閲覧者登録画面
- 3a 電子メールアドレス

- 3b アンケート画面
- 4 コード番号
- 4a バーコード
- 5 入場申込書
- 6 会場全体マップ
- 7 ブースマップ
- 8 出展者ブース
- 10 電子カート
- 11 資料送付事務局
- 10 50 版下
- 60 商品検索画面
- 61 商品カテゴリ入力部
- 62 検索ボタン
- 63 商品ボタン
- 64 会場マップボタン
- 81 出展企業
- 82 商品ボタン
- 83 商品詳細画面
- 83a 商品画像
- 83b 資料請求先
- 83c 出展者ブースボタン
- 90 出展者リスト
- 91 会場マップボタン
- 92 会場マップ

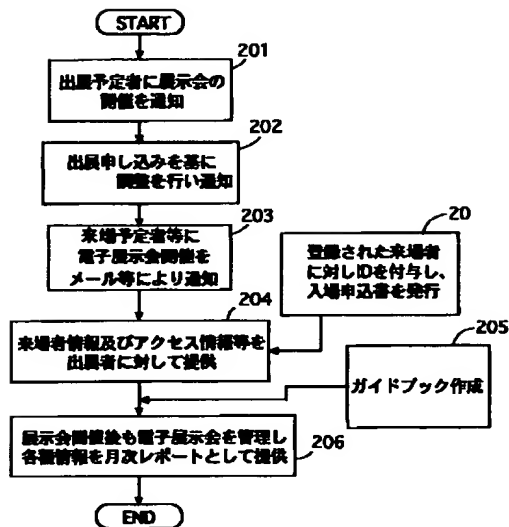
【図1】



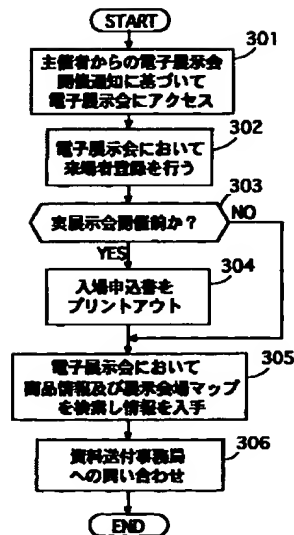
【図2】



【図3】

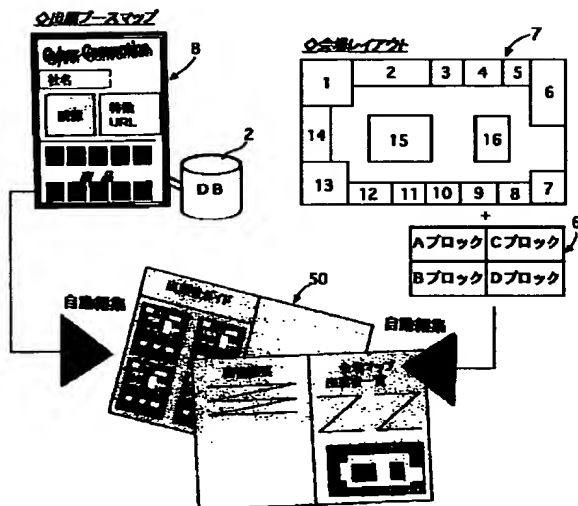


【図4】

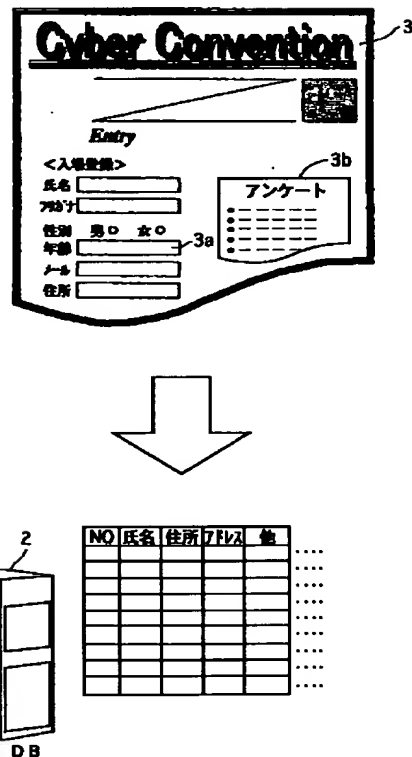


【図5】

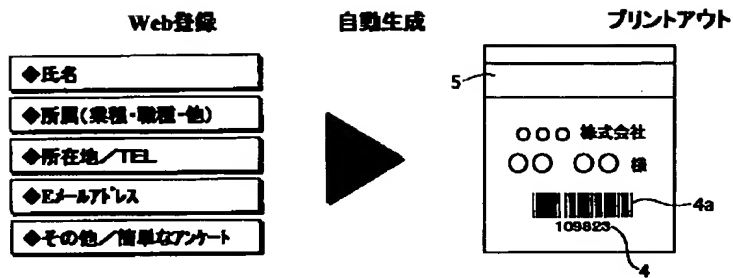
電子網による販下作成機能



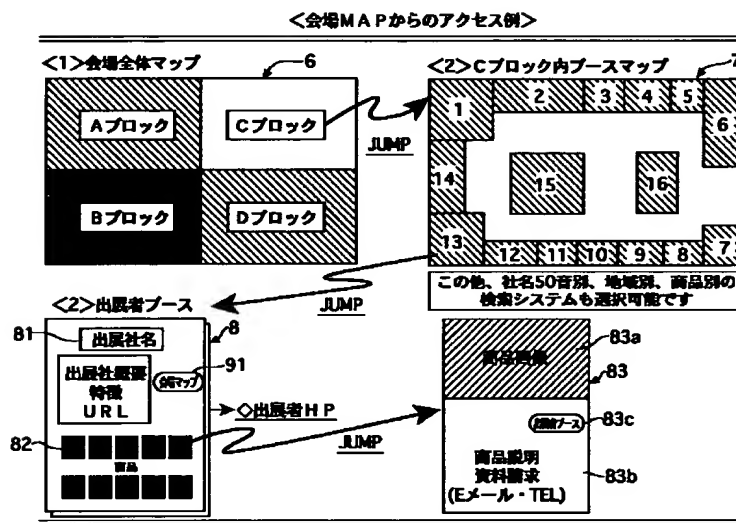
【図6】



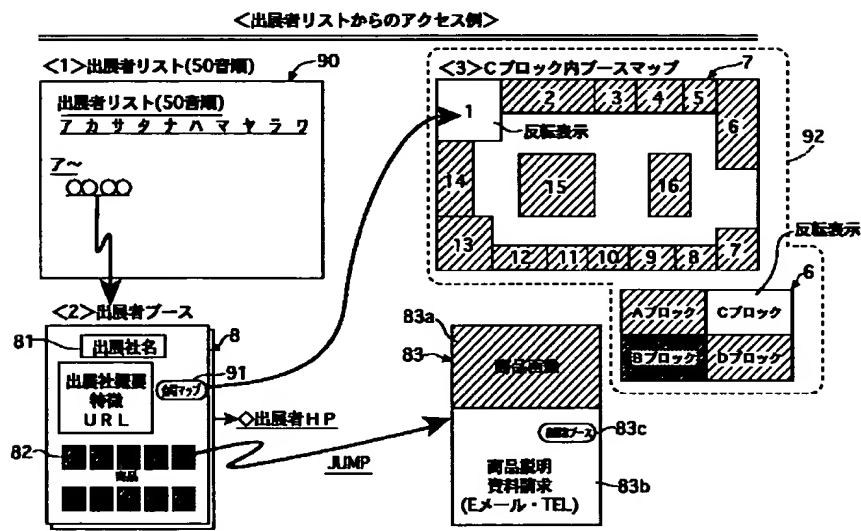
【図7】



【図8】



【図9】





**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**